

隣保館だより

令和 6 年 5 月 1 日 発行

第 5 6 9 号

相生市立上松隣保館 (28-0783)



風薫る五月、田では田植えに向けての準備が始まり、畑では夏野菜の植え付けが進んでいます。
海外からの旅行者もコロナ前の水準に戻り、今年のゴールデンウィークは各地多くの人でにぎわいそうです。新緑の季節を肌で感じ取り、健やかに過ごしてください。

防災対策は！？

1月1日に能登半島で最大震度7の大地震が発生して以来、日本国内では、震度5以上の地震が22回も発生しています。ちなみに、令和4年は年間10回、令和5年は年間9回。今年の多さには驚かされます。

南海トラフでは、今後30年以内にマグニチュード8～9の大地震が発生する確率が、80～90%といわれています。また、山崎断層も近くにあります。相生でも地震が発生すると、被害が予想されます。日頃から、地域で、そして家庭で防災対策を話し合い、準備を進めたいものです。

- 1 家具の置き方、工夫していますか？
- 2 食料・飲料などの備蓄、十分ですか？
- 3 非常用持ち出しバックの準備、できていますか？
- 4 ご家族同士の安否確認方法、決まっていますか？
- 5 避難場所や避難経路、確認していますか？

新聞に、私たちの生活の脆弱さを考えさせられる記事がありましたので掲載します。

人間の体に流れる毛細血管は、地球2周半もの長さがあるという。距離にすると約10万km。

体の隅々にまで酸素や栄養を運び、老廃物を回収する。毛細血管がなければ、人は生きられない。

どんな山奥の家でも蛇口をひねれば、水が出る。水道は人の体に例えると毛細血管のようなものだろう。それが大半で寸断されたまま、能登半島地震から1ヶ月を迎えた。

顔を洗って歯を磨き、ご飯を炊いて食器を洗い、洗濯をし、トイレで大小便を流し、風呂に入る。「電気が通っても、水がないと暮らせない」被災した人たちが、そう嘆くのは当然だろう。やっと水道が復旧した地域で蛇口から水が出た瞬間、手を合わせて涙を流す老夫婦の映像をテレビで見た。

インフラの中で水ほど大切なものはない。日本の地下には74万kmもの水道管が張り巡らされている。もちろん能登半島にも。この一部で傷つけば、毛細血管が切れた体のように不調が起き、関連死を引き起こす。

石川県によると、断水は8市町でまだ4万戸を超え、仮復旧は多くが2月末から3月末。一部は4月以降という。懸命に復旧作業を続ける全国の水道職員に感謝しつつ、もっと早くと願わずにはいられない。

蛇口をひねると水が出る。そのありがたさに手を合わせる。

令和6年 2月1日
神戸新聞 正平調より

令和6年5月分 隣保館教育事業 予定表

日	曜	午 前	午 後	夜 間	日	曜	午 前	午 後	夜 間
1	水	認知症サポーター講座	カラオケ きものリメイク		17	金			
2	木		習 字		18	土			
3	金	憲法記念日 休館日			19	日			
4	土	みどりの日 休館日			20	月	卓球同好会	カラオケ同好会	
5	日	こどもの日 休館日			21	火			
6	月	振替休日 休館日			22	水			
7	火				23	木	百歳体操	習 字	
8	水	料 理			24	金	健康体操		
9	木	百歳体操	習 字		25	土			卓 球
10	金	健康体操			26	日			
11	土			卓 球	27	月		詩吟同好会	
12	日				28	火	じゃがいもの会		
13	月	パン作り 卓球同好会	カラオケ同好会		29	水			
14	火				30	木			
15	水		カラオケ		31	金			
16	木		習 字						

《変更になる場合があります。自主講座を含んでいます》